

商店街で空き店舗が出てきたのは10年ほど前からです。しかし、空き店舗の増加は若い事業主を呼び込むきっかけにもなりません。

不登校の若者などを支援するNPO法人「アンガージューマン・よこすか(島田徳隆理事長)」。2004年の開設時、上町商盛会は県と市に補助金を申請し、商盛会が空き店舗を借り上げる形にして、アンガージューマンの家賃負担を軽減しました。

アンガージューマンに通う若者たちは商店街のイベントを手伝うなど、地域づくりを担っています。島田理事長は7月、上町商盛会商店街振興組合の理事にも就任。今後充実させたいネット事業に、若者の力を生かす役割などを期待されています。

「上町の風情が気に入って、腕試しに出店した」と話すのは、「カフェ&バー ココロ」の小

魅力発掘

よこすかチャレンジ商店街

若者呼び込む契機に

空き店舗

上町商盛会

⑩

原延之さん。8年前、定食屋の閉店を受け、同じ20代で友人の伊藤義英さんと開業。伊藤さんは2年後、ココロの隣にカフェサロンを開き、どちらの店にも固定客が通っています。

商盛会に出店した若い世代が抱く地域への危機感は強く、上町の3商店街が協力して昨春に初めて「桜まつり」を開催しました。

「何もしなければ何も始まらない。これから20〜30年、地域を思う仲間と一緒に頑張りたい」。ココロの小原さんは決意を込めて話しました。

▼あし 京急線横須賀中央駅徒歩10分。ホームページは<http://www.facebook.com/yshoutengai>

p://uwamachi.net/

(横須賀商工会議所情報企画課)

青木 優子

横須賀商工会議所は連載のフェイスブックページの<http://www.facebook.com/yshoutengai>を開設しています。



週1回、商店街の清掃活動をする「アンガージューマン・よこすか」の若者たち